

# 地域ケア会議

伊敷台 鹿児島市地域包括支援センター

## 【計画】

作成担当者： 石川 真紀

開催日時	令和01年12月13日 10:00 ~ 11:50	開催場所	伊敷台福祉館
参加者	居宅介護支援事業所：7人、相談支援事業所：1人、訪問介護事業所：2人、居宅療養管理薬局：1人、地域包括支援センター職員：2人		
	総数 13人		
内容	テーマ	令和元年度伊敷台地区 第3回事例検討会・情報交換会	
	目的	伊敷台地区介護支援専門員・相談支援事業所相談員、サービス事業所の資質向上に向けた事例検討と情報共有の場を持つ。顔なじみの構築・互いの連携が図れるようにしていく。	
	概要	①事例検討会 ②在宅における薬剤師の役割の講話 ③情報共有…退院支援ルール会議について	

## 【結果】

開催日時	令和01年12月13日 10:00 ~ 11:50	開催場所	伊敷台福祉館
参加者	居宅介護支援事業所：7人、相談支援事業所：1人、訪問介護事業所：2人、居宅療養管理薬局：1人、地域包括支援センター職員：2人		
	総数 13人		
内容	〈事例検討〉 ・事例検討会では、服薬管理関連のケースであり、今回は内服管理の見守り声かけなどをされる機会も多いかと思われる訪問介護と訪問看護への参加案内を行った。参加者としては訪問介護事業所からの参加があり、各々の立場の視点からの質問や意見もありながら様々な支援策についての情報の共有ができた。		
	〈講話〉 ・講話では、事例検討と講話に関連した内容。支援者として関わる中で内服に関しては医師との関わり合いもある。今回は薬剤師の役割を知り知識を深め、関係性の構築についての機会となった。 〈情報共有…退院支援ルール会議の伝達〉 県で取り組んでいる退院支援ルール会議へ参加し、現状と今後について情報共有をする。		
今後の課題など	事例検討と講話を通じて、横の連携の重要性を再確認できた。CMがこんなに感じる点でも医師との連携がとりづらい、というのが高い割合にあるが、薬剤師などの専門職の方への相談、依頼をすることでのハードルを下げ、利用者様のADL・QOLの改善、維持へと繋がることを再認識することができた。 また、今後も横との繋がりを構築しつつ連携し、核家族や居住地環境による問題などの地域課題へも取り組むことが必要。		